

Rising Moon



令和6年(2024年) 6月21日
～今日は、夏至です～

紫陽花に 雫あつめて 朝日かな

作 加賀 千代女

街に注ぐ陽ざしもすっかり夏めいて参りました。保護者の皆様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

梅雨の花といえば、紫陽花(あじさい)です。紫陽花の花言葉は、「移り気」・「辛抱強い」・「一家だんらん」などがあります。あじさいの語源には諸説ありますが、藍色が集まったものを意味する「集真藍(あづさあい／あづさい)」がなまったという説が有力とされています。小さな花がたくさん集まって一つの大きな花に見えることから、家族の繁栄と仲の良さを象徴しているとされます。私たち「ひがし学園」も、一人ひとり小さな花でも、みんなが集まって、つながって、大きな花に成長したいと思っています。



ボランティア活動について考える

6月17日(月)の午後、岩国ひがし学園小中一貫教育の恒例行事である「4校一斉地域清掃」が行われました。熱中症と雨が心配されましたが、主担当の願いが叶い、無事終わることができました。

この活動は、小瀬地区・装港地区でも同時に、一部の生徒は出身小学校で行いました。地域の皆様も各場所に来て、手伝ってくださり、ゴミや落ち葉、草などを回収しました。

この活動は、いわゆる、ボランティア活動です。ボランティアの語源は、voluntas(意志)というラテン語からきていると言われています。

ボランティアをはじめたいと思うきっかけは人それぞれ違います。ボランティアは自分の関心のあるテーマ、自分にできることから始められるとても身近な活動です。

ボランティア活動は、地域や社会をよりよくしていくことに役立つとともに、活動する自分自身も豊かにしてくれる力を持っています。そして、ボランティア活動のやりがいが一番大きいのは、人に感謝されることです。誰かに「ありがとう」と言われたり、笑顔を見られたりすると、「やってよかった」と実感することができます。そして、それまでのストレスや悩みなどが吹っ飛びます。生徒の皆さんには、これからも様々なボランティア活動に参加して、成長につなげてほしいと思います。もちろん、校内においても、気付きさえすれば、「いつでも・どこでも・誰とでも」できます。

合い言葉は、『僕も 私も ボランティア』と『気づき・考え・実行する』です！



悪口禁止

トラブルのきっかけの一つに、悪口があります。「人の悪口を言ったことがない」という人はいないのではないのでしょうか。誰しも、不平不満があったときには、ついつい言葉を(ぐちを含めて)発してしまうものです。しかし、ある心理学のサイトにあったのですが、悪口は言わない方がよいそうです。その理由は、以下のとおりです。

- ★ 悪口はストレス発散にはならない
- ★ 自分を悪いと感じている
- ★ 周囲から嫌われる
- ★ 悪口は正確には伝わらない
- ★ 敵を増やしてしまう

詩人で画家の星野富弘さんも言うておられます。「もう悪口を言うのはやめよう。私の口から出た言葉を一番近くで聞くのは、自分の耳なのだから。」・・・と。

思春期に起こりうる問題について



『10歳の壁』という言葉聞いたことがありますか？ 子育てには「10歳の壁」と「13歳の壁」があるとされます。

このうち、「10歳の壁」とは、小学4年生あたりから教科内容が難しくなり、算数などは慣れない文章題の増加によって、これまで計算は得意だった子がいきなりつまずいてしまう、そんな時期を意味します。

児童期から思春期へと向かうこの時期は、子どもが心身ともに大きく変わる過渡期ともいえる時期です。本当はまだ一緒にいたいのに、「パパと一緒にじゃいや」とか「ママ、来ないで」などと言うようになって、親子関係が微妙に変化する現象が起きやすい時期でもあります。

岩国市小中一貫教育の目標の一つに、この「10歳の壁」の解消があります。具体的には、小中9カ年を、4・3・2の指導区分に分け、小学5年生から中学1年生までの3年間で重点的に指導・支援しています。よって、本校の3階には、その3学年が配置され、いわゆる、「小中ギャップの解消」を意識しているのです。近年、思春期が早まっているとされます。思春期と言えば中学生ですが、その10歳頃から思春期の症状が現れる児童が増えているそうです。

保護者の皆様におかれましては、そんな多感なお子様に温かい声かけとご支援・ご指導をお願いします。以下に、京都市精神保健福祉総合センターが発行している「思春期と青年期の心の健康」をご紹介しますので、参考にしてください。

【 思春期と青年期の心の健康 】

- ① 思春期・青年期とは、子どもから大人への脱皮の時期です。
第二次性徴の訪れとともに、からだの発育はめざましく、大人らしいからだつきになります。一方、こころの面でも自分自身に目を向けるようになり、急に親離れを始め、これまでとはちがった価値観を身につけようとします。
- ② 思春期は、こんな時期です。
 - ① からだの変化が大きい
 - ② 親との距離を置きはじめる
 - ③ 自分自身に関心が向き始める
 - ④ 友達とのつきあいが変化してくる
 - ⑤ 「自分とは何か」を問う
 - ⑥ とまどいと不安に揺れ動く
 - ⑦ じっくり悩むことが大切
- ③ ともに親も悩み、戸惑う時期です。
 - ① 「気難しくなった」「何を考えているかわからない」…多くの親の感想です
 - ② 成長を見守る姿勢、これがつきあうコツです
 - ③ 親自身も戸惑いや心配の多い時期です
- ④ 思春期・青年期にみられるこころの危険信号です。

① 拒食と過食	② 対人恐怖	③ 強迫症状
④ 身体化と心身症	⑤ むなしさと怒り	⑥ 幻聴と妄想
⑧ 不登校と引きこもり		



お子様のことでお悩みがありましたら、遠慮なくご相談ください。スクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)をはじめ、岩国市内にも相談窓口があります。

◇ 明治大学文学部教授：諸富 祥彦氏 が提案する 親としての魔法の言葉
『なんくるないさあ〜』と3回唱えましょう。
*沖縄の方言＝「自然と(あるべきよう)なるものだ」という意味

【 I 学期のスクールカウンセラー来校日 】 最終案内

- 6月28日(金) 9:00~10:30 11:30~12:30
□ 7月 1日(月) 13:00~14:30
* 申し込みは、担任の先生、または、教育相談担当：村井 まで
TEL 東中学校 22-0108